

新型コロナワクチン接種 最新情報 三鷹市新型コロナワクチン接種コールセンター ☎0570-026-567

小児接種のご案内

5～11歳のお子さんの接種が「努力義務」になりました。努力義務とは強制ではなく、緊急のまん延防止の観点から国が接種への協力をお願いするものです。メリットとデメリットを確認し、本人と保護者が納得したうえで、接種に協力をお願いします。接種を希望する方は医療機関で直接予約してください(使用するワクチンは、オミクロン株対応のものではありません)。
 なお、国が発表している3回目接種については、市での接種が決まり次第『広報みたか』や市ホームページでお知らせするほか、市コールセンターでもご案内します。

小児接種に関するQ&A
(厚生労働省ホームページ)



医療機関名	所在地	予約方法	電話番号	予約受付時間(電話・窓口)/備考
つちや小児科	下連雀4-16-11	電話 窓口	0422-40-1488	平日午前9時30分～正午・午後4時～6時30分(水曜日休診)、土曜日は午前のみ/接種は金曜日午前10時～11時30分・午後4時～5時30分、土曜日午前10時～11時30分
渡辺こどもクリニック	下連雀9-5-1	HP	—	接種は火・金曜日午後4時～5時、土曜日午後2時～4時
三鷹さくらクリニック	牟礼2-11-5	HP	—	接種は水・土曜日
ふじもとこどもクリニック	牟礼2-11-22	HP	—	接種は土曜日午前9時30分から
きたのこどもクリニック	北野4-12-17	電話	0422-70-4150	平日午前9時～正午・午後2時～6時(木曜日休診)、土曜日は午後1時まで
新川クリニック	新川5-6-21	電話 窓口	0422-43-0123	平日午前9時～正午・午後3時～6時30分(木曜日休診)、土曜日は午前のみ/接種は水・土曜日
あきやま子どもクリニック	上連雀2-2-16	HP	—	接種は平日午後3時から、土曜日午前10時から
斎藤小児科医院	上連雀9-41-21	電話 窓口	0422-43-2237	平日午前9時～正午・午後2時45分～6時(木曜日休診)、土曜日は午前のみ/接種は金曜日午前11時～正午・午後3時～5時(第2金曜日は午前のみ)、土曜日正午～午後1時
かえでこどもクリニック	井口3-6-16	電話 HP	050-3557-3306	平日午前9時～正午・午後3時30分～5時(水曜日休診)、土曜日は午前のみ/接種は土曜日午後3時30分～4時30分
あかいしクリニック	深大寺2-35-29	HP	—	通院患者優先。予約時はホームページの注意点を必ずお読みください。
むさしの丘ファミリークリニック	野崎3-3-15-101	HP	—	接種は土曜日午後0時30分～1時30分

4回目接種

60歳以上の方へ

令和4年5月1日～10日に3回目接種を受けた方へ、9月21日(水)に接種券を発送します。接種券が届き次第、予約が可能です。

18～59歳の医療・高齢者施設などに従事している方へ



☎9月30日(金)まで
◆申請方法 接種券の送付には申請が必要です。
 ●電子申請サービス(左・右記QRコード)
 ●市コールセンター ☎0570-026-567 (平日午前9時～午後5時)

18～59歳の基礎疾患などがある方へ



予防接種健康被害救済制度

接種を受けることにより、接種部の痛みや倦怠(けんたい)感などの副反応以外に、極めてまれではあるものの病気になったり、障がいが残ったりすることがあります。接種を受けたことによる健康被害であると厚生労働大臣が認定した場合、国による救済が受けられます。

※詳しくは、市ホームページをご確認ください。



集団接種 3・4回目接種

☎9月22日(木)・23日(金祝)・29日(木)・30日(金)午前9時～午後4時30分

所 元気創造プラザ

◆使用するワクチン ファイザー社

◆予約・接種日時などの変更・キャンセル

●三鷹市ワクチン接種web予約サイト(右記QRコード)

●市コールセンター ☎0570-026-567

※9月27日(火)午後9時30分～11時30分は、システムメンテナンスのため、予約・接種日時などの変更の受け付けを休止します。

※当日キャンセルする場合は、市の代表番号へご連絡ください。



接種当日は、本人確認書類、接種済証、接種券が印字された予診票(必要事項を事前に記入)を必ずお持ちください。

個別接種 1～4回目接種

所 市内約70カ所の医療機関(詳しくは市ホームページ(下記QRコード)をご確認ください)

◆使用するワクチン(医療機関により異なります) モデルナ社、ファイザー社、武田社(ノババックス。1～3回目接種のみ)

◆予約方法

各医療機関で直接予約(市予約サイトやコールセンターでは予約できません)



オミクロン株対応ワクチンに関するお知らせ

国の分科会で、対象者などの方針が取りまとめられました。内容は市ホームページをご確認ください。

市の接種については、国の関係法令などの改正後、決定次第『広報みたか』や市ホームページでお知らせします。



健康コラム HPV(ヒトパピローウイルス) ワクチン

日本ではHPV16、18型による20・30代の子宮頸(けい)がんが増加しています。子宮頸がんの大部分は性交によるHPVの持続感染が原因であることは知られていて、20代の子宮頸がんでは発がんスピードが速いHPV16、18型が90%を超えて検出されています。それに対してHPVワクチンが有効であることは証明されており、日本でも平成25年4月からHPVワクチンが定期接種化されましたが、原因不明の全身疼痛(どうどう)や運動障害などの多様な症状が生じたというマスメディアの報道以降、開始からわずか2カ月後の6月以降には定期接種でありながら積極的勧奨を中止することになり差し控え状態でした。

その後、さまざまな検討の結果、「ワクチンとの因果関係の証明はなく、接種の有無にかかわらず、さまざまな症状を呈する存在がほかにも報告されており、ワクチンの有効性の方が優る」という結論に達し、9年経った今年の4月から再開となりました。現在、HPVワクチンは世界100カ国以上で定期接種化されており、発展途上国でもその接種率は50～100%となっています。

国内では公費接種として、2価と4価のHPVワクチンが承認されています。感染予防できるハイリスクHPVは16、18型で、初交前の女子に接種することが最も効果的で70%以上の予防ができるとされています。実際に、ワクチン停止世代における細胞異常率は、接種世代より上昇しており、その有効性は明らかです。副作用のないワクチンはありませんが、HPVワクチン接種後に生じた多様な症状に対応できる協力医療機関や専門医療機関の診療体制も整備されています。接種対象は小学6年生から高校1年生までですが、ワクチン接種を逃した平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれた女性も、令和7年3月まではキャッチアップ対象として公費で接種できますので、ぜひとも検討していただきたいです。

問 三鷹市医師会 ☎0422-472155